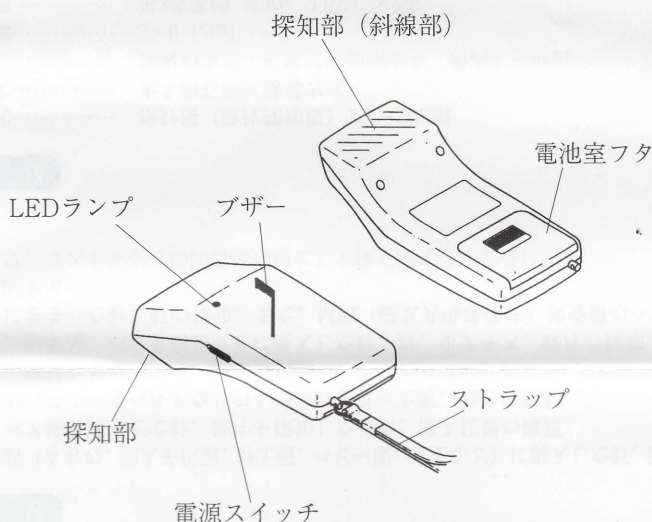


使い方

1. 《電源ON》 本体横の電源スイッチを「ON」にします。この時、<ピッ>音と共にLEDが一瞬赤色に点灯します。LEDが緑色に点灯した場合は電池の交換が必要です。(→電池の交換)
2. 《探知能力の確認》 探知能力は、探知物までの距離と探知物の大きさに影響を受けます。探知したい大きさの針や鉄片を持ち、探知部をかざして動かし、探知可能な材質・大きさ・距離であるかどうかを、あらかじめ確認してください。
(材質) 探知可能な材質は、鉄に限られます。ステンレス製の針等は探知しないので、ご注意ください。
(大きさ) 鉄製の虫ピン(φ0.7 × L 27mm)の大きさで、探知面より・距離) 最高3~4cm以内が探知可能です。
探知物が小さくなれば、探知可能距離も減少します。
3. 《探知》 LEDランプとブザー部が見えるように手に持って、検査したい物の上に探知部(下図)を軽く押しあてるようにしながら、前後又は左右に動かしてください。針、鉄片などを探知すると<ピー、ピー>と音がして、ランプが点滅します。一般的に早く動かす方が感度が高くなります。
検査終了後は、必ずスイッチを〔OFF〕にしてください。
4. 《電池の交換》 本体横の電源スイッチを「ON」にした時、LEDが緑色に点灯した場合は、電池の交換が必要です。
本体裏面の電池室のフタを矢印方向にスライドさせてあげ、電池を2本とも新しいものと交換してください。電池は使用期限に注意してください。

注意

- 本器は鉄製の針などの探知、検査作業の簡易化、能率化を支援するものです。
- 検査を始める前に、使い方1、2の電池の確認と探知能力の確認は、必ず行ってください。
- 検査は、検査物のまわりに鉄(スチールデスク、ハサミ、ハンガーなど)がない所で行ってください。又、腕時計、磁気カードなどは近づけないでください。
- 真ちゅう、アルミなど、鉄以外の金属製の付属部品でも大きさ、メッキ方法などによっては探知する場合があります。“検針器対策用”(NC商品)の付属部品については、各部品メーカーにおたずねください。
- 探知動作は、なめらかに行ってください。強く振る様に動かすと、誤動作します。



原理

永久磁石にコイルを巻いておき、その近くで鉄片を動かすと、コイルに起電力が誘起されます。この起動力を増幅して警報音に変換して、鉄片の有無を知らせる装置です。本器の場合は、本体を小型にして、鉄片を動かす代りに、本体(コイルを巻いた永久磁石)を動かす方式となっております。コイルの巻き方、磁石の形状、材質、増幅回路に独得の工夫を凝らして、高い性能が発揮されるよう設計してあります。